

不登校児童生徒の学校以外の「まなびの場」支援事業(モデル事業) R4 実施状況

次世代サポート課

【成 果】

- ・子どもの活動や興味の幅が広がった。
- ・謝金の支払いが可能となり、講師を依頼しやすくなった。
- ・他の児童生徒の希望で計画した活動に参加した他の児童生徒が、新たな興味につながった。
- ・プログラムをきっかけに外出が可能となった。
- ・悩み相談できるようになった。

【課 題】

- ・計画、実施のための打合せ等が時間的に厳しい。
- ・講師探しの負担が大きい。

【必要なこと】

- ・不登校支援コーディネーターのような民間施設と市町村教育委員会をつなぐ人材の配置
- ・市町村教育委員会が中心となり地域で共有できる人材リストの作成

施設名

学習・体験活動

A 理科実験、農業体験、ボール運動、キャリア教育

B 英会話、美術、科学、アクティビティ体験

C 道徳、ダンス、音楽、プログラミング学習

D クラフト、職場訪問、動画編集、ピアサポーター

◆専門的な人材活用の様子

※ピアサポート：同じような立場や課題に直面する人が互いに支え合うこと